

令和5年度 学校評価報告書 【大洲市立三善小学校】

教育目標『ふるさと三善を愛し、豊かな心で力いっぱい夢にチャレンジする三善っ子を育てる』

経営の重点	<input type="radio"/> 他人を思いやる心、感謝する気持ちを大切にし、チャレンジする心、豊かな人間性を育む教育の推進 <input type="radio"/> 小規模校の特性を生かし、一人一人の個性や創造性を伸ばす教育課程の実施 <input type="radio"/> 教職員の資質・能力の向上と、児童の基礎・基本の確実な定着および確かな学力の向上、郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成 <input type="radio"/> 児童と教職員の温かい人間関係構築と、明るく主体的に活動する児童の育成 <input type="radio"/> 学校・家庭・地域が一体となり、三善地区の伝統とよさを生かしつつ、社会の新たなニーズに柔軟に対応できる学校づくり
	[評定 A : 順調 B : 概ね順調 C : あまり順調でない D : 順調でない]

区分	具体的項目	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	○基礎学力の定着のための個に応じた指導と支援	○複式学級に適した授業改善（学力向上に向けた授業公開を実施し研修する。） ○ I C T 機器（タブレット端末）の積極的な活用 ○補充学習「ハルニレ教室」の実施 ○「愛媛学びの森学習支援サイト」の積極的な活用 ○基礎的な問題を出題した月末テストの実施 ○地域の教材や人材を生かした体験活動等の充実	○複式学級の授業実践や研修を通し、授業改善を図った。 ○補充学習の実施により、基本的事項の習得やタブレット端末操作の手順等、指導の充実につながった。 ○「授業がよくわかる」と回答した児童は100%である。 ●今後も効果的な複式学級での指導について研修を継続していく。	・先生たちが日頃から分かりやすい授業を心掛けて行っている成果がでていると思う。 ・I C T 教育は、今後大切になっていくので積極的にタブレットを活用してほしい。 ・小規模校の特性を生かした教育を展開してほしい。	A
	○学習習慣の定着と意欲化を図る学習環境の整備	教職員の肯定的評価（100%） 児童の肯定的評価（98%） 保護者の肯定的評価（95%）			
	○いじめ・不登校の防止対策	○月1回の「ふれあいアンケート」の実施によるいじめ等の予防と早期発見・対応 ○全教員による教育相談「あのねタイム」の実施による児童の悩みの把握と早期対応 ○「大洲市のきまり」や「夏休み・冬休みのくらし」を活用した生活指導の徹底	○子どもの悩みをいち早くキャッチすることにより、いじめの予防につながった。 ○「困ったとき先生は相談にのってくれる」と回答した児童は100%である。	・とても素直な子どもが多いと思う。保護者も安心して子どもを学校に送り出すことができている。	
	○保護者・地域の教育力を生かした健全育成	○縦割り班によるボランティア活動や清掃活動の実施 ○P T A 役員会における「はぐくみ委員会」の開催 ○みよし体験塾の実施 ○公民館へのあいさつ標語の応募	○なかよしの花（人権の花）運動を実施し、人権意識の高揚を図った。 ●「気持ちの良いあいさつ」の評価は他の項目と比べて低いため、家庭・地域と連携した取組が必要である。	・高学年が下級生をリードして気持ちの良いあいさつができる学校にしてほしい。 ・みよし体験塾での経験は今後の子どもの成長につながるので今後も実施してほしい。	
		教職員の肯定的評価（96%） 児童の肯定的評価（98%） 保護者の肯定的評価（92%）			

健康・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の育成 ○児童・教職員・保護者・地域の安全に関する意識の高揚 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察の確実な実施と、児童の健康状態の把握 ○フッ素洗口の実施と歯磨き指導の工夫 ○健康教育参観日の実施 ○三善タイムで、保健に関する集会活動を実施 ○アウトメディアチャレンジの実施 ○様々な状況に対応する防災減災教育の推進 ○年4回の避難訓練と引き渡し訓練の実施 ○毎月10日に行う安全点検と教職員による修繕と業者への修繕連絡 ○来校者に対する積極的な声掛け ○大洲市危機管理課と連携した避難所の設置 ○保護者や地域による登校の見守り活動 <p>教職員の肯定的評価（100%） 児童の肯定的評価（97%） 保護者の肯定的評価（95%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の協力を得て、個別に生活習慣の見直しを図れた。 ○児童の健康状態を把握し、情報共有することで、体調の変化にも対応できた。 ○保健集会を実施し、健康増進についての理解を深められた。 ○テレビやゲームの時間自分で考えて調節しようとする意識が高まった。 ○地域と連携した避難訓練を実施できた。 ○PTAや地域の協力により登校中の安全確保ができた。 ●緊急時にきちんと対応できるよう引き渡し訓練の内容を見直す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べずに登校する児童がいることを耳にする。生活習慣の見直しを家庭と連携して行うことが大切である。 ・大谷選手のグラブが届いたら外で元気よくキャッチボールをして体力向上に努めてほしい。 ・県道で交通量が増える時期があるので交通安全に気を付けてほしい。 <p>A</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者・地域の諸団体と連携した児童の健全育成 ○各種通信、ホームページ等を通じた情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級通信を定期的に発行し、各学級の様子を発信 ○校報「善い子」を毎月発行し、児童の活躍、地域協力の様子を家庭や地域に発信 ○ホームページを毎日更新して、児童の様子を発信 ○保護者への連絡メールを活用して、保護者や児童への支援・協力の依頼を発信 ○児童の地域行事への参加の呼び掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の取組や児童の様子を積極的に発信することにより、保護者や地域の理解と協力を得られた。 ○ホームページの更新を毎日行うことにより、最新の情報を発信することができた。 ○アフターコロナで地域の行事にも積極的に参加する児童が増えた。 ●今後より一層家庭・地域の願いに応えられるように、常に組織での対応を心掛ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を通して、学校だけでなく地域でも子どもたちを育てていると感じている。 ・世帯数が減少しているが工夫しながらPTA活動も行っていく必要がある。 ・地域の行事に参加すると、子どもたちから「三善愛」を感じる。地域の温かさを感じる。 <p>A</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読書マスター」による家庭での読書活動の充実と図書集会での児童への呼びかけ ○地域のボランティアによる「読み聞かせ」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の反省から、読書活動の充実に向けて家庭と連携した取組ができた。 ●改善傾向ではあるが家庭での読書量がまだ十分とは言えず、読書の充実への取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力や表現力を身に付けるために読書は大切だと思うので、今後も継続して啓発に努めてほしい。 <p>B</p>
総括	<p>多くの項目で高い評価を得ており、おおむね良好である。今後も教育目標の実現に向けて全教職員で学校教育に取り組んでいく必要がある。今回の評価で課題となつた「気持ちの良いあいさつ」、「読書活動」を充実させながら「三善っ子」の育成に取り組んでいきたい。</p>			